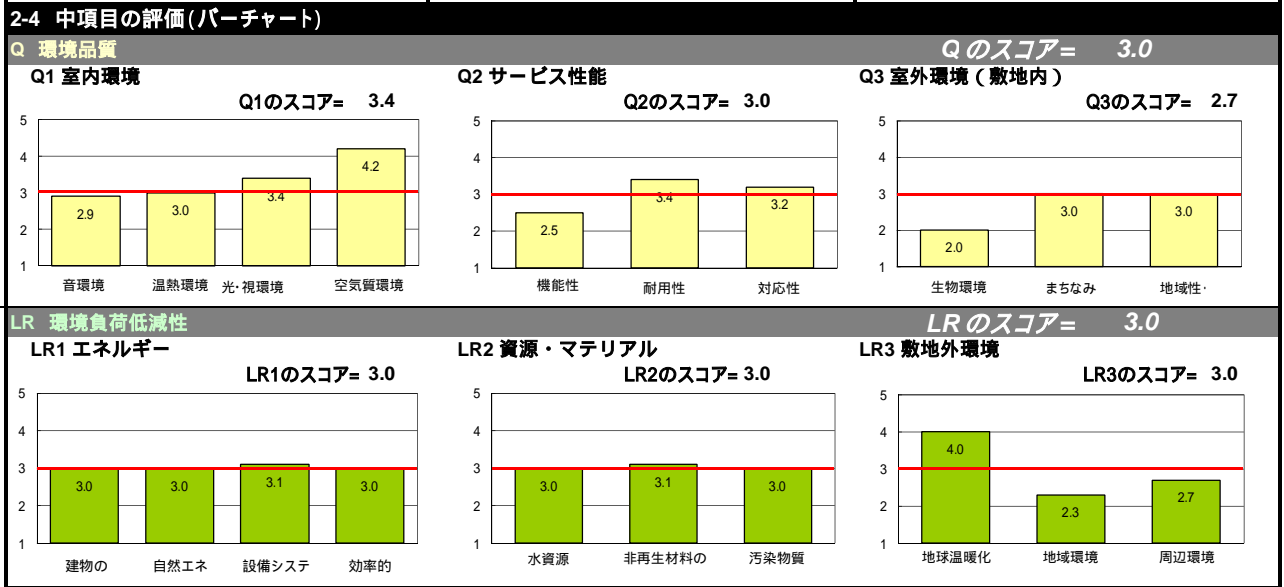
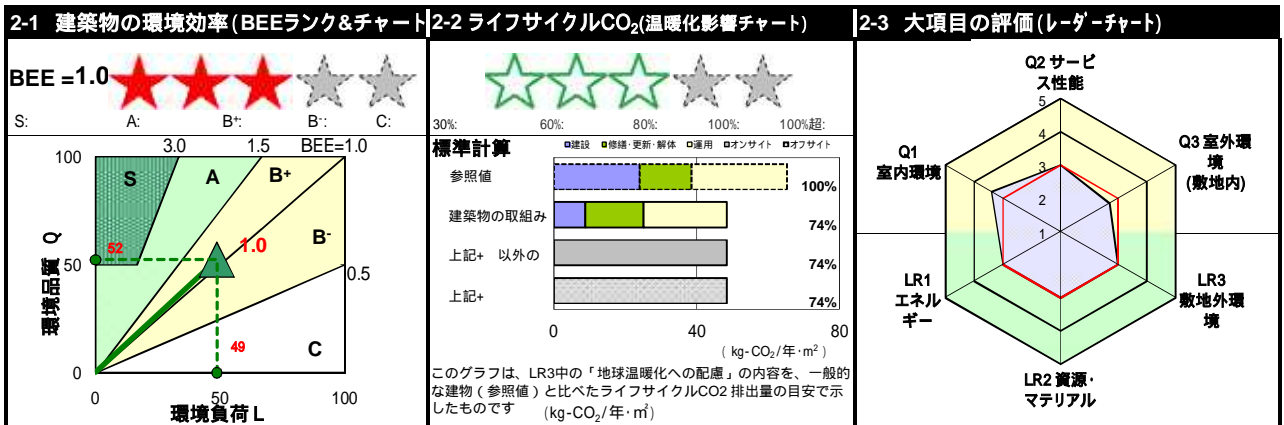


1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)平塚宮の前マンション	階数	地上13階
建設地	神奈川県平塚市宮の前2番6,7,8,22	構造	SRC造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	154人
気候区分	地域区分	年間使用時間	8,760時間/年
建物用途	事務所、集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2014年5月 予定	評価の実施日	2012年9月25日
敷地面積	762 m <sup>2</sup>	作成者	大東建託 株式会社
建築面積	477 m <sup>2</sup>	確認日	2012年9月27日
延床面積	5,526 m <sup>2</sup>	確認者	大東建託 株式会社



3 設計上の配慮事項	
<b>総合</b> 共同住宅なので居住者・近隣居住者双方の環境向上に配慮した。居住者においてはバリアフリー、緑化等による住環境の向上、近隣居住者においては廃棄物保管場所、駐輪場、駐車場等の整備による近隣への配慮。居住者への注意事項の徹底等	<b>その他</b> メインストリート側は歩道状空地を設けてスペースを確保し歩道側にオープンスペースとし共同住宅・事務所のアプローチを配置した。
<b>Q1 室内環境</b> 共同住宅として快適な生活が送れるような室内環境になるよう配慮した。(換気・光視・騒音等には特に配慮した。)	<b>Q2 サービス性能</b> 共同住宅のサービス向上に係わる項目には特に配慮をした。(バリアフリーの順守、インターネット環境の整備、住宅性能評価 劣化等級 3)
<b>LR1 エネルギー</b> 建物規模等により対応が難しいができる限りの配慮をした。(エネルギー利用について平均値(3.0)がとれるように配慮)	<b>LR2 資源・マテリアル</b> 建物規模等により対応が難しいができる限りの配慮をした。(水栓コマ等の対策等)
	<b>Q3 室外環境 (敷地内)</b> 環境・周辺への配慮は対応が難しいができる限りの配慮をした。(緑化条例の順守、歩道側への開放性)
	<b>LR3 敷地外環境</b> 建物規模等により対応が難しいができる限りの配慮をした。(廃棄物保管場所については特に配慮した。)

CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)  
 「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2, LR1, LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される